

## イベントのお知らせ

メディアアート月間「デジタル・ショック」2012年2月8日—3月7日



2012年2月、東京日仏学院(飯田橋)はメディアアート月間「デジタル・ショック」を開催いたします。デジタル・カルチャーと先端映像表現の分野でのクリエイティビティやデジタル技術が芸術や個人、建築にもたらす問題に光をあてようとする初めての試みで、様々な催しが行われます。その一環としてiPad上でのアプリケーション「アンリミテッド・シティー」を「デジタル・ショック」会期中、東京日仏学院ギャラリーに設置し、体験していただきます。このアプリケーションは建築家、都市工学者アラン・レンクがUFO(Urban Future Organization)の建築家達およびユービーアイソフト株式会社と共同

開発し、リアルタイムに緑地や人口密度、文化活動といった地域の構成要素を変えながら、自分自身で通りや町の未来の姿を想像することができます。

東京日仏学院は、デジタル技術が建築や都市工学に与える影響について、アラン・レンク氏および K- MUSEUM や大江戸線飯田橋駅などを手がけ、国際的にその名を知られた建築家渡辺誠氏を迎え、お話を伺います。

「アンリミテッド・シティー」紹介ビデオ(日本語字幕つき)

<http://vimeo.com/34503607>

## 「都市工学とデジタル・バーチャルワールド」対談:アラン・レンク、渡辺誠

司会:菅原大輔

東京日仏学院 2階 エスパス・イマージュ

2月9日(木)19時より最大21時まで

日仏同時通訳つき、定員108名、入場無料、先着順

お問合せ:東京日仏学院 03-5206-2500

**アラン・レンク:**建築家、都市工学者。2000年にR+P社を設立し、都市工学の領域におけるバーチャルワールド(仮想世界)と身体の変遷について研究している。

**渡辺誠:**K- MUSEUM や大江戸線飯田橋駅などを手がけ、国際的にその名を知られた建築家。デジタルツールや数学的なツールを使用することで知られ、『アルゴリズム・ミック・デザイン』(2009年)や『INDUCTION DESIGN』(2002年)、『建築は、柔らかい科学に近づく』(2002年)など、建築・都市を、オリジナルコンピュータプログラムとのコラボレーションで生成・設計する、ALGODesignについての著作も多数。



JR:西口より7分 地下鉄:B3出口より7分  
〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町 15

**菅原大輔:**建築家・アートディレクター。日仏の建築事務所に勤務し、世界各地で様々なプロジェクトを担当。帰国後、「SUGAWARADAISUKE」を設立。建築を背景にした総合的なデザインとアートディレクションを行う。